

## 日本, 英国, 米国の株価指数先物の同時点依存関係の検証

山崎 邦利

### 〈要旨〉

本稿では, 日本, 英国, 米国の3カ国の株価指数先物の同時点取引における依存関係を, コピュラDCC-EGARCHおよびベクトル自己回帰 (VAR) モデルを使って検証した. 日本においては, 自国の現物株式取引時間帯で他国との連動が低い一方, 米国の現物株式取引時間帯で高まること, 英国においても同様の傾向がみられること, 一方, 米国においては, 米国の現物株式取引時間帯で他国との連動が高まること示された. ボラティリティは, 各国共に自国の現物株式取引時間帯が最も高く, ボラティリティショック発生後に, 各国の連動が上昇し, その水準がしばらく継続することが示された.

(一橋大学大学院経営管理研究科博士課程後期)